

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

国語 科目 現代の国語

教科：国語

科目：現代の国語

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～ F組

使用教科書：（新編 現代の国語 東京書籍）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したり力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
・単元「こそめスープ」 村田 沙耶香 [知技] (1)ア、ウ、エ、オ [思判表] 読むこと(1)ア、イ	・筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせることができる。 ・「新編 現代の国語」、「常用漢字クリア」、ノート、プリント、「新国語便覧」			○	【知識及び技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	○	○	○	5
・単元「ルリボシカミキリの青」福岡 伸一 [知技] (1)ア、ウ、エ、オ [思判表] 読むこと(1)ア	・筆者の少年時代の体験について書かれた文章を読み、自分に当てはめて考える。			○	[知技] ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や言葉の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き言葉豊かなにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 [思判表] 「読むこと」において、文章の種類				5
定期考査						○	○		1
・単元「気になるニュースについて話そう」 [知技] (1)イ [思判表] 話すこと・聞くこと(1)ア、イ 話すこと・聞くこと(2)ア	・情報を整理し、内容や構成に注意して話す。 ・「新編 現代の国語」、「常用漢字クリア」、ノート、プリント、「新国語便覧」			○	[知技] ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切ななどに配慮した表現や言葉遣いを使っている。 [思判表] ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 [主] 積極的に情報の収集や整理を行い、理解しやすい内容構成や展開を工夫して、自分の考えを発表しようとしている。	○	○	○	6
・単元「水の東西」 山崎 正和 [知技] (1)ア、ウ、エ、オ [思判表] 読むこと(1)ア	・「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。 ・評論の書かれ方を理解し、読み方を知る。 ・要旨をまとめ、文章の要点を把握する指導事項 ・「新編 現代の国語」、「常用漢字クリア」、ノート、プリント、「新国語便覧」			○	[知技] ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や言葉の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解している。 [思判表] ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したり、自分の考えを深めている。 [主] 粘り強く筆者の考える「想像力」を理解し、学習課題に沿って実際の生活を見直し、情報社会における自己の在り方について考えを深め、話し合おうとしている。	○	○	○	6
定期考査						○	○		1

2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 単元「スキマが育む都市の緑と生命のつながり」塚谷裕一 [知技] (1)ア, ウ, エ, オ [思判表] 読むこと(1)ア, イ 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な植物を観察してきた成果を述べる文章を読み、提示された新しい視点について理解する。 「新編 現代の国語」、「常用漢字クリア」、ノート、プリント、「新国語便覧」 	○	<ul style="list-style-type: none"> [知技] <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 [思判表] <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 [主] <ul style="list-style-type: none"> 粘り強く都市部の緑の在り方を述べた筆者の主張を理解し、学習課題に沿って生態系という新しい視点と資料との関連性を捉えながら自分の考えを深めようとしている。 	○	○	○	7
	<ul style="list-style-type: none"> 単元「集めた情報の内容を検討して意見文を書こう」 [知技] (1)ウ, オ/2)ア [思判表] 書くこと(1)ア, イ 書くこと(2)ア 	<ul style="list-style-type: none"> 情報を集めて検討し、構成を工夫して意見文を書く。 「新編 現代の国語」、「常用漢字クリア」、ノート、プリント、「新国語便覧」 	○	<ul style="list-style-type: none"> [知技] <ul style="list-style-type: none"> 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 [思判表] <ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 	○	○	○	6
	定期考査				○	○		1
	<ul style="list-style-type: none"> 単元「鍋洗いの日々」 村上 信夫 [知技] (1)ア, ウ, エ, オ [思判表] 読むこと(1)ア 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の道を切り開いた筆者の体験談から、仕事に対する思いを読み取る。 「新編 現代の国語」、「常用漢字クリア」、ノート、プリント、「新国語便覧」 	○	<ul style="list-style-type: none"> [知技] <ul style="list-style-type: none"> 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 [思判表] 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 	○	○	○	3
	<ul style="list-style-type: none"> 「真夏のひしこ漁」 矢田 勝美 [知技] (1)ア, ウ, エ, オ [思判表] 読むこと(1)ア 	<ul style="list-style-type: none"> 海での漁の様子を伝える文章を読み、自然の中での労働について理解を深める。 読書を通じて将来の職業や働き方を考える。 「新編 現代の国語」、「常用漢字クリア」、ノート、プリント、「新国語便覧」 	○	<ul style="list-style-type: none"> [知技] <ul style="list-style-type: none"> 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 [思判表] 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 [主] 	○	○	○	3
<ul style="list-style-type: none"> 単元「発想を広げる方法を使って話し合おう」 [知技] (2)イ [思判表] 話すこと・聞くこと(1)ア, オ 話すこと・聞くこと(2)ウ 	<ul style="list-style-type: none"> 発想を広げてアイデアを整理し、まとめる。 「新編 現代の国語」、「常用漢字クリア」、ノート、プリント、「新国語便覧」 	○	<ul style="list-style-type: none"> [知技] <ul style="list-style-type: none"> 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 [思判表] <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述 	○	○	○	7	
定期考査							1	

高等学校 令和7 8

国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～F組

使用教科書：（東京書籍 「新編言語文化」）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標 ※記号は学習指導要領と対応	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A 「美しい」ということ 【知識及び技能】 (1)ア, イ, ウ, エ 【思考力、判断力、表現力等】 読むこと(1)ア, オ 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の経験と分析について理解し、学習課題に沿って「美しい」ということについて考える。	・筆者の経験と分析について理解し、「美しい」ということについて考える。 ・一人1台端末の活用			○	【知識・技能】 中間調査、小テスト 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期調査 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りシート、宿題	○	○	○	5
	B 枕草子「うつくしきもの」 【知識及び技能】 (1)ア, ウ, エ/(2)ウ 【思考力、判断力、表現力等】 読むこと(1)ア, イ, オ 【学びに向かう力、人間性等】 自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、学習課題に沿って、「うつくしきもの」に共通する特徴を捉え、古今異義語について考える。	・作品の内容を自分と関係づけながら、ものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・一人1台端末の活用			○	【知識・技能】 中間調査、小テスト 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期調査 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りシート、宿題	○	○	○	5
	定期調査					○	○		1	
	C 羅生門 【知識及び技能】 (1)ア, イ, ウ, エ 【思考力、判断力、表現力等】 読むこと(1)ア, オ 【学びに向かう力、人間性等】 描かれている内容についての見解をまとめ、学習課題に沿って、発表や討論を通じて得た他の意見も踏まえながら、考えを深める。	・極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題を考える。 ・一人1台端末の活用			○	【知識・技能】 中間調査、小テスト 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期調査 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りシート、宿題	○	○	○	6
	D 羅城門 【知識及び技能】 (1)ア 【思考力、判断力、表現力等】 読むこと(1)エ, オ 【学びに向かう力、人間性等】 古典を元にして作られた作品についての理解を深め、学習課題に沿って、古典を元にして作られた作品と原作との違いや創作性について考える。	・古典を元にして作られた作品と、元の作品を読み比べ、理解を深める。 ・一人1台端末の活用			○	【知識・技能】 中間調査、小テスト 【思考・判断・表現】 ワークシート、定期調査 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りシート、宿題	○	○	○	6
定期調査					○	○		1		

2 学 期	<p>E 伊勢物語「芥川」「筒井筒」</p> <p>【知識及び技能】 (1)ア, ウ, エ/②ウ</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 読むこと(1)ア, イ, ウ</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 進んで歌物語の特徴や表現の仕方について理解し, 学習課題に沿って, 各章段に描かれた内容を的確に捉える。</p>	<p>・歌物語に描かれている内容を, 叙述を基に的確に捉える。</p> <p>・一人1台端末の活用</p>				○			<p>【知識・技能】 中間調査、小テスト</p> <p>【思考・判断・表現】 ワークシート、定期調査</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りシート、宿題</p>	○	○	○	12
	定期調査									○	○		1
	<p>G 夢十夜</p> <p>【知識及び技能】 (1)ア, イ, ウ, エ</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 読むこと(1)ア, ウ</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 進んで文章の構成や展開, 表現の特色などを捉え, 学習課題に沿って, 小説の中に展開する独自の世界を味わう。</p>	<p>・表現に即して小説を丁寧に読み味わい, そこに展開する独自の世界を味わう。</p> <p>・一人1台端末の活用</p>				○			<p>【知識・技能】 中間調査、小テスト</p> <p>【思考・判断・表現】 ワークシート、定期調査</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りシート、宿題</p>	○	○	○	7
	<p>H デューク</p> <p>【知識及び技能】 (1)ア, イ, ウ, エ</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 読むこと(1)ア, ウ</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 進んで文章の構成や展開, 表現の特色などを理解し, 学習課題に沿って, 主人公の心情の変化を読み取り, 表現に注意して話の展開を捉える。</p>	<p>・主人公の心情の変化を読み取り, 細かい表現に注意して話の展開を捉える。</p> <p>・一人1台端末の活用</p>				○			<p>【知識・技能】 中間調査、小テスト</p> <p>【思考・判断・表現】 ワークシート、定期調査</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りシート、宿題</p>	○	○	○	7
	定期調査										○	○	

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

地歴科 科目 地理総合

教科： 地歴科 科目： 地理総合

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（ 高等学校 新地理総合（帝国書院） / 標準高等地図（帝国書院） ）

教科 地歴科 の目標：

【知識及び技能】

地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理の基礎的知識を身に付け、日常生活の中で見られる事象と関連付けることが出来るようにする。	地理的知識をもとに、身近な生活や世界各地で起きている事象と結び付け、各自の価値観に則り、自身の考えを表現することが出来るようにする。	人類が直面している世界的な課題について、主体的に調査して自らの考えを構築する姿勢を身に付けていく。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1節 地球上の位置と時差 1 地球上の位置と私たちの生活 緯度の違いは、私たちの生活にどのような影響を与えているのだろうか。 2 時差と私たちの生活 時刻の違い(時差)は、私たちの生活にどのような影響を与えているのだろうか。 2節 地図の役割と種類 1 地球儀と地図 なぜ地図にはさまざまな図法があるのだろうか。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識…】 ・緯度・経度の基本的なしくみ、緯度の違いが生活に与える影響について理解している。 ・時差のしくみ、時差が生活に与える影響について理解している。 【思考力…】 ・緯度・経度の基本的なしくみ、緯度の違いが生活に与える影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・地図や地理情報における資料を、自らファイリングする。 ・時差のしくみ、時差が生活に与える影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに…】 時差のしくみ、時差が生活に与える影響について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	5
	第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解 1節 世界の地形と人々の生活 1 大地形と人々の生活 大地形は、人々の生活とどのように関わり合っているのだろうか。 2 変動帯と人々の生活 変動帯の地形は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識…】 ・生活の舞台となる陸地、地形をつくる営力、大地形を構成する変動帯と安定地域について理解している。 ・変動帯のプレート境界と生活への影響、地震・火山と生活への影響について理解している。 【思考力…】 ・生活の舞台となる陸地、地形をつくる営力、大地形を構成する変動帯と安定地域について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・変動帯のプレート境界と生活への影響、地震・火山と生活への影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに…】 ・生活の舞台となる陸地、地形をつくる営力、大地形を構成する変動帯と安定地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ・変動帯のプレート境界と生活への影響、地震・火山と生活への影響について、よりよい社会の実現を視野	○	○	○	6
	中間考査			○	○		1
	2節 世界の気候と人々の生活 1 気温・降水と人々の生活 気温や降水は人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。 2 大気大循環と人々の生活 風は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識…】 ・気候が生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴について理解している。 ・大気大循環・恒常風のしくみと生活への影響、季節風（モンスーン）のしくみと生活への影響について理解している。 【思考力…】 ・気候が生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・大気大循環・恒常風のしくみと生活への影響、季節風（モンスーン）のしくみと生活への影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに…】 ・気候が生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ・大気大循環・恒常風のしくみと生活への影響、季節風（モンスーン）のしくみと生活への影響について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	11

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（ 数研出版 新編 数学 I [改訂版] ）

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けることができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】 問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けることができる。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	式の計算 式を、目的に応じて1つの文字に着目して整理したり、1つの文字におき換えたりするなどして既に学習した計算の方法と関連付けて、多面的に捉えたり、目的に応じて適切に変形したりする力を培う。	・多項式の加法減法 ・多項式の乗法 ・因数分解	【知識・技能】 小テスト、 考査 【思考・判断・表現】 考査、 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	10
	定期考査 実数 実数が四則演算に関して閉じていることや、直線上の点と1対1に対応していることなどについて理解するとともに、簡単な無理数の四則計算ができるようにする。	・実数 ・根号を含む式の計算	【知識・技能】 小テスト、 考査 【思考・判断・表現】 考査、 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	1
	1次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察したり、具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式を活用したりする力を培う。	・不等式の性質 ・1次不等式 ・絶対値を含む方程式不等式	【知識・技能】 小テスト、 考査 【思考・判断・表現】 考査、 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	10
	集合と命題 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。	・集合 ・命題と条件 ・命題と逆、裏、対偶 ・命題と証明	【知識・技能】 小テスト、 考査 【思考・判断・表現】 考査、 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	2次関数とグラフ 2次関数の値の変化やグラフの特徴を理解するとともに、2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフを描くなどして多面的に考察する。	・関数とグラフ ・2次関数のグラフ ・2次関数の最大最小 ・2次関数の決定	【知識・技能】 小テスト、 考査 【思考・判断・表現】 考査、 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	18
	定期考査 2次方程式と2次不等式 2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。	・2次方程式 ・2次関数のグラフとx軸の位置関係 ・2次不等式	【知識・技能】 小テスト、 考査 【思考・判断・表現】 考査、 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	20
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	図形と計量 三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比の相互関係などを理解できるようにする。また、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、三角比を活用して問題を解決する力を培う。	・三角比 ・三角比の相互関係 ・三角比の拡張 ・正弦定理 ・余弦定理 ・正弦定理と余弦定理の応用 ・三角形の面積	【知識・技能】 小テスト、 考査 【思考・判断・表現】 考査、 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	16
	データの分析 適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現する力、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりする力を養う。	・データの整理 ・データの代表値 ・データの散らばりと四分位数 ・分散と標準偏差 ・2つの変量の間の関係 ・仮説検定の考え方	【知識・技能】 小テスト、 考査 【思考・判断・表現】 考査、 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 問題演習の取り組み	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
						合計	105

高等学校 令和8年度（1学年用）教科 数学 科目 数学A

教科： 数学 科目： 数学A 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書： （ 新編 数学A（数研出版） ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して、事象を論理的に考察する力、数理的に考察する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深める態度を養う。

科目 数学A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
場合の数と確率、図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深める態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	集合 ・集合の概念や共通部分、和集合、部分集合、補集合、ド・モルガンの法則について理解させる。	・集合	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考査得点の上昇率、授業の取り組み	○	○	○	3
	場合の数と確率 ・和集合および補集合について理解し、それらの要素の個数を求めることができるとともに、具体的な場面で利用できるようにする。	・集合の要素	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考査得点の上昇率、授業の取り組み	○	○	○	5
	場合の数と確率 ・樹形図を用いて、場合の数の数え上げができるようにする。 ・和の法則、積の法則の利用場面を理解し、具体的な場面で場合の数を求められるようにする。	・集合の要素の個数	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考査得点の上昇率、授業の取り組み	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
	場合の数と確率 ・順列の考え方を、具体的な事象を通して理解し、いろいろな場合の数を求められるようにする。 ・円順列、重複順列について理解し、順列の考え方をを用いて場合の数を求められるようにする。	・順列	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考査得点の上昇率、授業の取り組み	○	○	○	5
	場合の数と確率 ・組合せの考え方を理解し、いろいろな場合の数を求められるようにする。 ・組合せと順列の考え方の違いを理解して使い分けることができる。 ・同じものを含む順列について、組合せを用いて考察し、総数を求めることができるようにする。	・組合せ	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考査得点の上昇率、授業の取り組み	○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	1
・具体例を通して施行と事象の意味および、事象を集合で表されることを理解させる。 ・確率の定義を理解し、確率を求めることができるようにする。	・事象と確率	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考査得点の上昇率、授業の取り組み	○	○	○	4	
・根元事象が同様に確からしい場合の確率の意味を理解し、いろいろな具体例における確率を求めることができるようにする。 ・加法定理や余事象を利用して、確率を求めることができるようにする。	・確率の基本性質	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 考査得点の上昇率、授業の取り組み	○	○	○	5	

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教科：理科 科目：化学基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～F組

使用教科書：（第一学習社 高等学校 新化学基礎）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度

科目 化学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 物質の構成 第1節 物質のその構成要素 物質の分離、物質を構成する元素 元素の確認、物質の三態 原子の成り立ち、同位体とその利用 原子の電子配置、元素の周期律と周期表	元素と原子についての理解 単体、化合物、純物質、混合物の分類 三態変化と温度についての理解	【知識・技能】 小テスト、実験技能 【思考・判断・表現】 小テスト、振り返り、レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の提出、授業態度	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	第1章 物質の構成 第2節 化学結合 イオン、イオン結合、イオンからできる物質 共有結合、分子の極性、分子からできる物質、共有結合の結晶 金属結合と金属結晶	物質を構成する基本粒子である原子の理解 原子の構造と原子番号、質量数の理解 電子配置の原子の性質、周期表の理解 電解質、非電解質、陽イオン、陰イオンの価数とイオン式、イオンの名称 共有結合による分子の形成 金属の性質と金属結合	【知識・技能】 小テスト、実験技能 【思考・判断・表現】 小テスト、振り返り、レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の提出、授業態度	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
2 学 期	第2章 物質の変化 第1節 物質量と化学反応式 原子量・分子量・式量 物質量と粒子の数 物質量と質量 物質量と気体の体積 溶解と濃度、化学反応式 化学反応と量的関係	質量数12の炭素を基準とする原子の相対質量 原子量、分子量、式量の理解 アボガドロ数と物質量の計算 アボガドロの法則 重量パーセント濃度、モル濃度 化学反応式の作り方 化学変化の量的関係	【知識・技能】 小テスト、実験技能 【思考・判断・表現】 小テスト、振り返り、レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の提出、授業態度	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	第2章 物質の変化 第2節 酸と塩基とその反応 酸と塩基、酸・塩基の強弱と分類 水素イオン濃度とpH pHの測定、中和と塩 中和の量的関係 中和滴定とpHの変化	酸、塩基の理解とアレニウスの定義 ブレンステッド・ローリーの定義 酸、塩基の価数と強弱 水の電離、水素イオン濃度と水酸化物イオン濃度 pHの理解	【知識・技能】 小テスト、実験技能 【思考・判断・表現】 小テスト、振り返り、レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の提出、授業態度	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
3 学 期	第2章 物質の変化 第3節 酸化還元反応 酸化と還元、酸化数 酸化剤と還元剤 金属のイオン化傾向 金属の反応性 電池 電気分解	酸化数の増減と酸化・還元 酸化剤・還元剤と半反応式 酸化還元反応式 酸化還元滴定 金属のイオン化系列 電池の原理 電気分解の利用	【知識・技能】 小テスト、実験技能 【思考・判断・表現】 小テスト、振り返り、レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の提出、授業態度	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
							合計 70

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科：理科 科目：生物基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～F組

使用教科書：（第一学習社 高等学校 新生物基礎）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について理解するとともに科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	(7) 生物の特徴 ⑦ 生物の共通性と多様性 様々な生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして理解する。また、生物の共通性と起源の共有を関連付けて理解する。 ⑧ 生物とエネルギー 生物とエネルギーに関する資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解する。また、光合成や呼吸などの代謝とATPを関連付けて理解する。	・様々な生物の比較する内容を要約し、用語の理解、生物の共通性と起源の共有の関連付けを抽出する。 ・実験観察をもとに生命活動にエネルギーが必要であることをレポートにまとめる。 ・一人1台端末によって考察を共有し、振り返りに生かす。 生物とエネルギーに関する資料を要約し、用語の理解、知識の関連付けを行う。	【知識・技能】 生物は多様でありながら共通性をもっていることをほぼ正しく理解し、観察とスケッチの技能を習得している。 【思考・判断・表現】 レポートに生物の共通性と起源の共有を関連付けて概ね正しくまとめ、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りにおいて暗記から理解へと学習の目標を高めようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	(4) 遺伝子とその働き ⑦ 遺伝情報とDNA DNAの構造に関する資料に基づいて、遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴を見いだして理解するとともに、塩基の相補性とDNAの複製を関連付けて理解する。 ⑧ 遺伝情報とタンパク質の合成 遺伝情報の発現に関する資料に基づいて、DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列との関係を見いだして理解する。	・教科書の該当する内容を要約し、用語の理解、知識相互の関連付けを抽出する。 ・DNAの複製実験観察をレポートにまとめる。 ・一人1台端末によってDNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列との関係についての考察を共有し、振り返りに生かす。	【知識・技能】 DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列との関係をほぼ正しく理解し、観察とスケッチの技能を習得している。 【思考・判断・表現】 塩基の相補性とDNAの複製を関連付けてレポートに概ね正しくまとめ、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りにおいて遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴を暗記から理解へと学習の目標を高めようとしている。	○	○	○	9
定期考査			○	○		1	
2 学 期	(7) 神経系と内分泌系による調節 ⑦ 情報の伝達 体の調節に関する観察、実験などを行い、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解する。 ⑧ 体内環境の維持の仕組み 体内環境の維持の仕組みに関する資料に基づいて、体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見いだして理解する。	・教科書の該当する内容を要約し、用語の理解、知識相互の関連付けを抽出する。 ・実験観察をレポートにまとめる。 ・一人1台端末によって考察を共有し、振り返りに生かす。	【知識・技能】 体内での情報の伝達が体の調節に関係していることをほぼ正しく理解し、観察とスケッチの技能を習得している。 【思考・判断・表現】 レポートに概ね正しくまとめ、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りにおいて暗記から理解へと学習の目標を高めようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	(4) 免疫 ⑦ 免疫の働き 免疫に関する資料に基づいて、異物を排除する防御機構が備わっていることを見いだして理解する。	・免疫に関する資料の内容を要約し、用語の理解、知識相互の関連付けを抽出する。 ・異物を排除する実験観察をレポートにまとめる。 ・一人1台端末によって考察を共有し、振り返りに生かす。	【知識・技能】 異物を排除する防御機構が備わっていることをほぼ正しく理解し、観察とスケッチの技能を習得している。 【思考・判断・表現】 レポートに概ね正しくまとめ、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りにおいて暗記から理解へと学習の目標を高めようとしている。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
3 学 期	(7) 植生と遷移 ⑦ 植生と遷移 植生の遷移に関する資料に基づいて、遷移の要因を見いだして理解する。また、植生の遷移をバイオームと関連付けて理解する。	・植生の遷移に関する資料を要約し、用語の理解、知識相互の関連付けを抽出する。 ・植生の遷移をバイオームと関連付けてレポートにまとめる。 ・一人1台端末によって考察を共有し、振り返りに生かす。	【知識・技能】 ほぼ正しく理解し、遷移の観察とスケッチの技能を習得している。 【思考・判断・表現】 レポートに概ね正しくまとめ、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りにおいて暗記から理解へと学習の目標を高めようとしている。	○	○	○	5
	(4) 生態系とその保全 ⑦ 生態系と生物の多様性 生態系と生物の多様性に関する観察、実験などを行い、生態系における生物の種多様性を見いだして理解する。また、生物の種多様性と生物間の関係性とは関連付けて理解する。	・教科書の該当する内容を要約し、用語の理解、知識相互の関連付けを抽出する。 ・生態系と生物の多様性に関する観察実験をレポートにまとめる。 ・一人1台端末によって考察を共有し、振り返りに生かす。	【知識・技能】 生態系における生物の種多様性についてほぼ正しく理解している。 【思考・判断・表現】 レポートに概ね正しくまとめ、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りにおいて暗記から理解へと学習の目標を高めようとしている。	○	○	○	5

<p>④ 生態系のバランスと保全 生態系のバランスに関する資料に基づいて、生態系のバランスと人為的攪かく乱を関連付けて理解する。また、生態系の保全の重要性を認識する。</p>	<p>・生態系のバランスに関する資料を要約し、用語の理解、知識相互の関連付けを抽出する。 ・生態系のバランスと人為的攪かく乱を関連付けてレポートにまとめる。 ・一人1台端末によって考察を共有し、振り返りに生かす。</p>	<p>【知識・技能】 生態系の保全の重要性を認識し、資料要約の技能を習得している。 【思考・判断・表現】 レポートに概ね正しくまとめ、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りにおいて暗記から理解へと学習の目標を高めようとしている。</p>	○	○	○	7
定期考査			○	○		1
						合計
						70

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現I

教科： 外国語 科目： 論理・表現I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ F 組

使用教科書： (EARTHRISE English Logic and Expression I)

教科 外国語

の目標：

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの五つの領域の言語活動による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況において適切に活用できる技能を身に付ける。情報や考えなどを的確に理解したり、表現したりして、コミュニケーションを図る資質、能力を育成する。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考えなどの要点等を的確に理解したり、これらについて適切に伝え合ったりできる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
五つの領域別の目標を達成するのにふさわしいものについて理解し、実際のコミュニケーションに活用できる技術を身に付ける	コミュニケーションを行う目的や場所、状況などに応じて、適切な英語で表現することを通して、五つの領域を身に付ける	外国語による五つの領域の言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を育成する

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 (<small>や</small>)	話 (<small>発</small>)	書					
Lesson 1 文型	・ 文法事項の解説と問題演習を通して文法を理解し、活用できるようにする。 ・ 教科書、プリント等	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 文法を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 文法に基づいて考え、表現できるか 【学びに向かう力、人間性等】 授業に真剣に取り組んでいるか、提出をきちんと出しているか	○	○	○	4
Lesson2 時制（1）	・ 文法事項の解説と問題演習を通して文法を理解し、活用できるようにする。 ・ 教科書、プリント等	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 文法を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 文法に基づいて考え、表現できるか 【学びに向かう力、人間性等】 授業に真剣に取り組んでいるか、提出をきちんと出しているか	○	○	○	4
1 学期 定期考査			○			○		○	○		1
Lesson 3 時制（2）	・ 文法事項の解説と問題演習を通して文法を理解し、活用できるようにする。 ・ 教科書、プリント等	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 文法を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 文法に基づいて考え、表現できるか 【学びに向かう力、人間性等】 授業に真剣に取り組んでいるか、提出をきちんと出しているか	○	○	○	4
Lesson 4・5 助動詞	・ 文法事項の解説と問題演習を通して文法を理解し、活用できるよ						【知識及び技能】 文法を理解しているか				

		うにする。 ・教科書、プリント等	○	○	○	○	○	○	【思考力、判断力、表現力等】 文法に基づいて考え、表現できるか 【学びに向かう力、人間性等】 授業に真剣に取り組んでいるか、 提出をきちんと出しているか	○	○	○	4
	定期考査			○				○		○	○		1
2 学 期	Lesson 6 受動態	・文法事項の解説と問題演習を 通して文法を理解し、活用できるよ うにする。 ・教科書、プリント等	○	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 文法を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 文法に基づいて考え、表現できるか 【学びに向かう力、人間性等】 授業に真剣に取り組んでいるか、 提出をきちんと出しているか	○	○	○	4
	Lesson 7・8 不定詞	・文法事項の解説と問題演習を 通して文法を理解し、活用できるよ うにする。 ・教科書、プリント等	○	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 文法を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 文法に基づいて考え、表現できるか 【学びに向かう力、人間性等】 授業に真剣に取り組んでいるか、 提出をきちんと出しているか	○	○	○	8
	定期考査			○				○		○	○		1
	Lesson 9 動名詞	・文法事項の解説と問題演習を 通して文法を理解し、活用できるよ うにする。 ・教科書、プリント等	○	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 文法を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 文法に基づいて考え、表現できるか 【学びに向かう力、人間性等】 授業に真剣に取り組んでいるか、 提出をきちんと出しているか	○	○	○	4
	Lesson 10 分詞 Lesson 11 関係詞 (1)	・文法事項の解説と問題演習を 通して文法を理解し、活用できるよ うにする。 ・教科書、プリント等	○	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 文法を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 文法に基づいて考え、表現できるか 【学びに向かう力、人間性等】 授業に真剣に取り組んでいるか、 提出をきちんと出しているか	○	○	○	8
	定期考査			○				○		○	○		1
3 学 期	Lesson 12 関係詞 (2)	・文法事項の解説と問題演習を 通して文法を理解し、活用できるよ うにする。 ・教科書、プリント等	○	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 文法を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 文法に基づいて考え、表現できるか 【学びに向かう力、人間性等】 授業に真剣に取り組んでいるか、 提出をきちんと出しているか	○	○	○	4
	Lesson 13 比較 Lesson 14 仮定法	・文法事項の解説と問題演習を 通して文法を理解し、活用できるよ うにする。 ・教科書、プリント等	○	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 文法を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 文法に基づいて考え、表現できるか 【学びに向かう力、人間性等】 授業に真剣に取り組んでいるか、	○	○	○	8

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科： 芸術 科目： 美術 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ F 組

使用教科書： （ 美術 1 ）

教科 芸術 の目標：

- 【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 想像的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵・彫	デ	映						
A「身近なものを描く」 【知識及び技能】 形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、線の強弱や描画材の特性を生かして表す。 【思考力、判断力、表現力等】 身近なものの特長や美しさなどを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 身近なものの特長や美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組み。	・指導事項 モチーフを観察する。 構図を工夫する。 ・教材 スケッチブック、画板、鉛筆、色鉛筆等	○			○	○	○	○	○	6
B「視点と表し方」 【知識及び技能】 透視図法を学び、観察したモチーフを描く際に活用する。形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、線の強弱や描画材の特性を生かして表す。 【思考力、判断力、表現力等】 自然物の特長や美しさなどを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を練り描く。 【学びに向かう力、人間性等】 自然物の特長や美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組み。	・指導事項 モチーフを観察する。 構図を工夫する。 透視図法を学び活用する。 ・教材 スケッチブック、画板、画用紙、鉛筆、カッターナイフ、消し具等	○			○	○	○	○	○	12
C「デザインの世界」 【知識・技能】 造形要素の働きを理解し、デザインされたものの造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見せ方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 デザインの表現と鑑賞の創造活動に、主体的に取り組み。	・指導項目 「デザイン」とは何かを考えるきっかけを作る。 ・形や色などの造形の要素と目的や機能との調和を事例を基に指導する。 ・教材 スケッチブック、画板、画用紙、鉛筆、色鉛筆、カッターナイフ等				○	○	○	○	○	6

2 学期	<p>D「キャラクターのデザイン」</p> <p>【知識・技能】 キャラクターの形や色彩、性格を表すポーズや持ち物などの効果、伝達したい情報やイメージなどを捉え、材料や用具などの特性を生かして表す。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 伝えたい情報や使われる場面などを基に、キャラクターの形や色彩、性格の設定などによる伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 伝えたい情報やイメージをキャラクターとして豊かに表す創造活動に、主体的に取り組む。</p>	<p>・指導項目 目的や使用する条件に応じて、美しさなどを考え、主題を生成できるように指導する。</p> <p>・教材 スケッチブック、鉛筆、色鉛筆、イラストボード等</p> <p>・1人一台端末の活用</p>					<p>【知識】 形や色彩の性質およびそれらが人の感情にもたらす効果や、キャラクターのポーズや持ち物などの造形的な特徴を基に、全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>【技能】 意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら色鉛筆などの特性を生かし、見通しをもって創造的に表している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 情報を伝えるために、伝える相手や使われる場面などのイメージから主題を生成し、キャラクターの形や色彩、性格を表すポーズや持ち物などが感情にもたらす効果や伝達効果と美しさとの調和などを総合的に考え、表現の構想を練っている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 主題を生み出し、キャラクターの伝達効果などを総合的に考え構想を練り、意図に応じて創造的に工夫し見通しを持って表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>				28
3 学期	<p>E「漫画表現」</p> <p>【知識・技能】 漫画表現における形や色彩、構図の性質やそれらが感情にもたらす効果などを基に、全体のイメージや作風で捉えることを理解し、ペンによる線や色、コマ割りなどの特性を生かして創造的に表す。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分の好きな漫画作品をよく見つめ、感じ取ったことや、考えたことなどから主題を生成し、ペンや、コマ割りによる表現の特性を生かし、形や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練ったり、鑑賞したりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性に関する目標】 ペンやコマ割りなどによる漫画表現の歴史や効果を理解するとともに、主題を表す表現の学習活動や、既存の漫画作品や他の生徒の表現についてその意図や工夫を味わい、見方や感じ方を深める創造活動に主体的に学習に取り組む態度・意欲的に取り組む。</p>	<p>・指導項目 表現形式の特性を生かし、形態や色彩、画面の構成などについて考え、創造的な表現の構想を練られるようにする。</p> <p>・教材 スケッチブック、ペン、ケント紙、練ゴム、鉛筆等</p> <p>・1人一台端末の活用</p>					<p>【知識】 漫画表現における形や色彩、構図などの性質やそれらが感情にもたらす効果や造形の要素の働きを理解し、その特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。</p> <p>【技能】 意図に応じて、ペンによる線や色、コマ割りなどの表現の特性を生かして創意工夫し、主題を追及して創造的に表している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分が感じ取ったこと、考えたことなどから主題を生成し、ペンやコマ割りによる表現の特性を生かし、形態や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自分が感じ取ったこと、考えたことなどから精製した主題を基に、ペンやコマ割りによる効果を理解し積極的に取り入れる漫画表現の活動に主体的・意欲的に取り組もうとしている。</p>				18
											合計 70

淵江高等学校 令和8年度（1学年用） 教科：保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 A組～F組

使用教科書：（「現代高等保健体育（50 大修館 保体701）」）

使用教材：（なし）

教科 保健体育の目標： 体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、各種の運動がもたらす体の健康への効果はもとより、心の健康も運動と密接に関連していることを実感させ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する。

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
 (1) 運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
(知識) ・各種目の特性、技能、ルール、練習の仕方等を理解する。 ・自己に応じた目標の設定、課題解決のための練習方法を考え、試合や発表会等で表現できるようにする。 (技能) ・各種目の基本的な技能を身に付け、試合や発表会等で実践できるようにする。 ・目標の実現に向け、仲間と協力し、安全に配慮して、学習できるようにする。	・自己や仲間の課題を発見、理解し、目標を定め、その課題解決に向け練習の計画を立てることができるようにする。 ・安全に配慮して、効率よく練習が進められるよう、グループ内で役割分担し、協力できるようにする。 ・生涯にわたって運動が継続できるよう、自己や仲間の課題を発見し、その解決に向けての取り組み方を他者に伝えることができるようにする。	・各種目の特性、ルール、練習方法を理解し、主体的に取り組むことができるようにする。 ・自己や仲間の課題や練習計画を見直すなど、互いに高め合うために協力できるようにする。 ・危険を予測し行動するなど、常に安全、健康を確保し行動できるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知/技	思	態	配当 時数
1 学 期	1. 体育理論 【知識及び技能】 体育の目標、スポーツの特性について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自他や社会の課題について、他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 社会及び自己の課題を認識し目的意識をもって主体的にねばり強く学習に取り組む。	体育の目標 スポーツの文化的特性	【知識・技能】 体育の目標、スポーツの特性について理解している。 【思考・判断・表現】 社会及び自己の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	2. 体づくり運動 【知識及び技能】 各種運動の方法、目的等を理解、実践する。自己の心身の状態や体力に応じて、計画を立て実生活で役立てることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の目標に応じた運動を計画立案する。仲間と協力して運動を楽しむことができるようにする。自己の課題や今後の目標について他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自己及びクラスの課題を認識し目的意識をもって主体的にねばり強く学習に取り組む。ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組む。	体ほぐしの運動 体力を高める運動 体育祭練習 体力テストの実施と振り返り	【知識・技能】 各種運動の方法、目的等を理解、実践している。 【思考・判断・表現】 自己及びクラスの課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に、また、ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組もうとしている。	○	○	○	15
	3. 陸上競技（リレー） 【知識及び技能】 体育祭での競技実施に向け、競技のルールを理解し、自己及びクラス目標、練習計画の立案等、仲間と協力し練習できるようにする。バトンパスの技術、方法を理解し、記録向上に向け実践できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 記録向上に向け、練習計画を立案する。仲間と協力して運動を楽しむことができるようにする。自己やクラスの課題を他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自己及びクラスの課題を認識し目的意識をもって協力して学習に取り組む。ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組む。	短距離走 リレー	【知識・技能】 短距離走の技術、リレーのルール、バトンパスの効果的な方法等を理解、実践している。 【思考・判断・表現】 自己及びクラスの課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に、また、ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組もうとしている。	○	○	○	6
	4. 水泳 【知識及び技能】 クロール、平泳ぎの基本的な技術を理解し、自己の目標を持つとともに、練習計画を立案し、仲間と協力し練習できるようにする。2つの泳法について、技能を高め、生涯スポーツとして、楽しく水泳を実践できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 記録向上に向け、練習計画を立案する。仲間と協力して運動を楽しむことができるようにする。自己及び他者の課題を他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自己及び他者の課題を認識し目的意識をもって協力して学習に取り組む。ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組む。	水泳 クロール・平泳ぎ	【知識・技能】 2つの泳法について、基本的な技術と練習方法を理解し、自己及び他者の目標に向け、仲間と協力して実践している。 【思考・判断・表現】 自己及び他者の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に、また、ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組もうとしている。	○	○	○	6
	5. 球技 【知識及び技能】 各種目の基本的技術及び練習法を理解し、自己の課題をもち、練習計画を立案し、仲間と協力し練習できるようにする。それぞれの技能を高め、生涯スポーツとして、楽しく運動が実践できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 技能向上に向け、練習計画を立案する。仲間と協力して運動を楽しむことができるようにする。自己及び他者の課題を他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自己及び他者の課題を認識し目的意識をもって協力して学習に取り組む。ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組む。	バレーボール、バドミントン、サッカー、ソフトボール、バスケットボール（球技）	【知識・技能】 各種目の基本的技術及び練習法を理解し、自己及び他者の目標に向け、仲間と協力して実践している。 【思考・判断・表現】 自己及び他者の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に、また、ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組もうとしている。	○	○	○	6
2 学 期	1. 水泳 【知識及び技能】 クロール、平泳ぎの基本的な技術を理解し、自己の目標をもつとともに、練習計画を立案し、仲間と協力し練習できるようにする。2つの泳法について、技能を高め、生涯スポーツとして、楽しく水泳を実践できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 記録向上に向け、練習計画を立案する。仲間と協力して運動を楽しむことができるようにする。自己及び他者の課題を他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自己及び他者の課題を認識し目的意識をもって協力して学習に取り組む。ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組む。	水泳 クロール・平泳ぎ	【知識・技能】 2つの泳法について、基本的な技術と練習方法を理解し、自己及び他者の目標に向け、仲間と協力して実践している。 【思考・判断・表現】 自己及び他者の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に、また、ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組もうとしている。	○	○	○	8
	2. 球技 【知識及び技能】 各種目の基本的技術及び練習法を理解し、自己の課題をもち、練習計画を立案し、仲間と協力し練習できるようにする。それぞれの技能を高め、生涯スポーツとして、楽しく運動が実践できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 技能向上に向け、練習計画を立案する。仲間と協力して運動を楽しむことができるようにする。自己及び他者の課題を他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自己及び他者の課題を認識し目的意識をもって協力して学習に取り組む。ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組む。	バレーボール、バドミントン、サッカー、ソフトボール、バスケットボール（球技）	【知識・技能】 各種目の基本的技術及び練習法を理解し、自己及び他者の目標に向け、仲間と協力して実践している。 【思考・判断・表現】 自己及び他者の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に、また、ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組もうとしている。	○	○	○	26

3 学 期	<p>9. バドミントン/ダンス</p> <p>【知識及び技能】 バドミントン、ダンスの基本動作、基本的な動き、練習法、創作方法を理解し、自己の課題をもち、段階的な練習計画を立案し、仲間と協力し練習できるようにする。それぞれの技能を高め、生涯スポーツとして、楽しく運動が実践できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 基本動作や基本的な動きの習得、技能向上に向け、練習計画を立案する。仲間と協力して運動を楽しむ、自己の課題を他者に伝え、学習の成果を発表することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自己及び他者の課題を認識し目的意識をもって協力して学習に取り組む。ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組む。</p>	バドミントン、ダンス	<p>【知識・技能】 バドミントン、ダンスの基本動作、基本的な動き、練習法、創作方法を理解し、自己及び他者の目標に向け、仲間と協力して実践している。</p> <p>【思考・判断・表現】 自己及び他者の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に、また、ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>1. 柔道、陸上競技（持久走）</p> <p>【知識及び技能】 柔道の基本動作、基本的な動き、練習法、創作方法を理解し、自己の課題をもち、段階的な練習計画を立案し、仲間と協力し練習できるようにする。男子3km、女子2.4kmの記録測定に向け、自己の目標タイムを決め、仲間と協力し練習できるようにする。1周ごとの目標ラップ時間を設定し、徐々に距離を延ばし、記録向上に向け実践できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 柔道の基本動作や基本的な動きの習得、技能向上に向け、練習計画を立案する。仲間と協力して運動を楽しむ、自己の課題を他者に伝え、学習の成果を発表することができるようにする。</p> <p>持久走の記録向上に向け、1周ごとのラップタイムを設定する。ペアを作り相手のラップタイムを記録する中で協力して運動を楽しむことができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自己及び仲間の課題を認識し目的意識をもって協力して学習に取り組む。柔道ではルールやマナーを守り、持久走では体調管理に留意し、仲間と協力し、安全に配慮して取り組む。</p>	柔道／持久走	<p>【知識・技能】 柔道の基本動作、基本的な動き、練習法、創作方法を理解し、自己及び他者の目標に向け、仲間と協力して実践している。当日の走行距離に応じて目標タイムを設定するとともに、ペアと協力して互いの1周ごとのラップタイムを記録し、自己及び他者の目標に向け、仲間と協力して実践している。</p> <p>【思考・判断・表現】 自己及び他者の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に、また、ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組もうとしている。</p>	○	○	○	12
	<p>2. 球技</p> <p>【知識及び技能】 各種目の基本的技術及び練習法を理解し、自己の課題をもち、練習計画を立案し、仲間と協力し練習できるようにする。それぞれの技能を高め、生涯スポーツとして、楽しく運動が実践できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 技能向上に向け、練習計画を立案する。仲間と協力して運動を楽しむことができるようにする。自己及び他者の課題を他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自己及び他者の課題を認識し目的意識をもって協力して学習に取り組む。ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組む。</p>	バレーボール、バドミントン、サッカー、ソフトボール、バスケットボール（球技）	<p>【知識・技能】 各種目の基本的技術及び練習法を理解し、自己及び他者の目標に向け、仲間と協力して実践している。</p> <p>【思考・判断・表現】 自己及び他者の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に、また、ルールやマナーを守り、仲間と協力し、安全に配慮して取り組もうとしている。</p>	○	○	○	12
<p>3. 体育理論</p> <p>【知識及び技能】 オリンピックをはじめ現代スポーツの課題、スポーツ環境について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 現代スポーツの課題及び自身のかかわりについて、他者に伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代スポーツと自身のかかわりについて認識し、目的意識をもって主体的にねばり強く学習に取り組む。</p>	現代的なスポーツの発展	<p>【知識・技能】 オリンピックや現代スポーツの課題、スポーツを取り巻く環境について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 社会及び自己の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	3	
							合計
							105

年間授業計画 新様式

東京都立高等学校 令和8年度（1学年用） 教科：保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

使用教科書：a 「現代高等保健体育（50 大修館 保体701）」

使用教材：（なし）

教科 保健体育の目標： 体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、各種の運動がもたらす体の健康への効果はもとより、心の健康も運動と密接に関連していることを実感させ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する。

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標： 保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。
 (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
 (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
 (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
学習内容について理解したことを発言したり記述したりしているとともに、心肺蘇生法等を実施できる。	自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。	現代社会と健康、安全な社会生活について、社会及び自己の課題を認識し目的意識をもって主体的にねばり強く学習に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	相当数
1 学期	1. 現代社会と健康 【知識及び技能】健康の考え方、健康の成立要因、わが国の健康水準の変化とその背景、現在の健康問題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】自他や社会の課題について、他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】社会及び自己の課題を認識し目的意識をもって主体的にねばり強く学習に取り組む。	健康の考え方と成り立ち 私たちの健康のすがた	【知識・技能】 健康の考え方、健康の成立要因、わが国の健康水準の変化とその背景、現在の健康問題について理解している。 【思考・判断・表現】 社会及び自己の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	1. 現代社会と健康 【知識及び技能】生活習慣病の種類と要因、予防について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】自他や社会の課題について、他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】社会及び自己の課題を認識し目的意識をもって主体的にねばり強く学習に取り組む。	生活習慣病の予防と回復	【知識・技能】 生活習慣病の種類と要因、予防について理解している。 【思考・判断・表現】 社会及び自己の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	1. 現代社会と健康 【知識及び技能】喫煙の健康への影響、喫煙対策について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】自他や社会の課題について、他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】社会及び自己の課題を認識し目的意識をもって主体的にねばり強く学習に取り組む。	喫煙と健康	【知識・技能】 喫煙の健康への影響、喫煙対策について理解している。 【思考・判断・表現】 社会及び自己の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	1. 現代社会と健康 【知識及び技能】がんの種類や原因と予防、がんをめぐる問題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】自他や社会の課題について、他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】社会及び自己の課題を認識し目的意識をもって主体的にねばり強く学習に取り組む。	がんの原因と予防 がんの治療と回復	【知識・技能】 がんの種類や原因と予防、がんをめぐる問題について理解している。 【思考・判断・表現】 社会及び自己の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	定期考査	1 学期の授業内容を基にしたテスト	【知識・技能】 1 学期の授業内容について理解している。 【思考・判断・表現】 社会及び自己の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。	○	○		1
2 学期	1. 現代社会と健康 【知識及び技能】運動、食事、休養・睡眠と健康との関わり、適切な運動、食事、休養・睡眠のとり方、行い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】自他や社会の課題について、他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】社会及び自己の課題を認識し目的意識をもって主体的にねばり強く学習に取り組む。	運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康	【知識・技能】 運動、食事、休養・睡眠と健康との関わり、適切な運動、食事、休養・睡眠のとり方、行い方について理解している。 【思考・判断・表現】 社会及び自己の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	1. 現代社会と健康 【知識及び技能】飲酒、薬物乱用の健康及び社会への影響を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】自他や社会の課題について、他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】社会及び自己の課題を認識し目的意識をもって主体的にねばり強く学習に取り組む。	飲酒と健康 薬物乱用と健康	【知識・技能】 飲酒、薬物乱用の健康及び社会への影響を理解している。 【思考・判断・表現】 社会及び自己の課題について、現状及び自身の考えを言葉や文章で伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5

令和8年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

(1学年)

1 単位時間の時間 (50) 分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	4	第11章 支え合う社会	①課題設定 (1時間) この科目のねらい ②情報の収集 (体験活動3時間) 様々な防災活動の体験 ③整理・分析 (1時間) 自分にできることの考察 ④まとめ・表現 (1時間) 自分にできることの発表	○ 自己と社会の繋がりを認識して、高校生活ですべきことを理解できたか。	6 (3)
	5				
	6	第2章 学ぶことの意義	①課題設定 ②情報の収集 (2時間) 学力テストの実施 ③整理・分析 (1時間) 学習状況の課題と対策について ④まとめ・表現 (1時間) 学ぶことの意義を考える	○ 自己の適性・現状・課題を把握できたか。	4
	7	自己実現のための進路研究	①課題設定 (2時間) 自分が関心を持っている分野は何か		2
2	9		②情報の収集 (1時間) 学ぶべき教科・科目について ③整理・分析 ④まとめ・表現 (1時間) 自己実現のための科目選択	○ 自分の将来について真剣に考えられたか。	2
	10				
	11 12	第4章 役割と責任を考える	①課題設定 (3時間 うち体験活動2時間) 地域清掃活動 (体験活動2時間) ボランティアの意義とやり方について ②情報の収集 (体験活動8時間) 足立フレンドリーマラソンの支援 ③整理・分析 (1時間) ④まとめ・表現 (1時間) 自分が果たすべき役割は何か	○ 奉仕活動の意義に関心をもったか。 ○ 体験活動をふまえて、奉仕活動について自ら考えたか。 ○ 奉仕活動を適切に理解し、適切な表現で発表できたか。 他者の発表を聴くことで、考えを共有できたか。	13 (10)
3	1	第1章 人間関係を築く	①課題設定 (1時間) 他人の何をを知りたいか、自分の何を知ってほしいか ②情報の収集 (2時間) ワークショップ ③整理・分析 ④まとめ・表現 (1時間) 自己を肯定する大切さについて 他者を尊重する大切さについて	○ 他者と誠実に、前向きに話し合えたか。 ○ 奉仕活動への考え方がどう変化したか。また具体的に行動できたか。	4
	2				
	3	第3章 働くことの意義	①課題設定 (1時間) 企業が欲する人材と自分の長所や能力 ②情報の収集 (1時間) 足立区就労支援課と連携したワークショップ 労働に関する法律について ③整理・分析 様々な働き方とやりがいについて ④まとめ・表現 (1時間) 1年間の活動を通して、自己の考え方や行動の変化について振り返る		4
配当時間数の合計					35 (13) ※ () 内は体験学習で内数

令和 8 年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

(2 学年)

1 単位時間の時間 (50) 分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	6	ガイダンス 概要説明	探究活動の概要説明 テーマの例示 具体的な探究方法の例示	・概要が理解できたか。 ・自分の探究についてイメージできたか。	5
	7	テーマ設定	テーマ・目標の確認 テーマの発表 探究方法へのアドバイス	・テーマを設定できたか。 ・他人のテーマを聞いて自己のテーマを検証できたか。	6
2	1 0	テーマの個別指導	個別指導の開始 テーマについての助言	・テーマについて、再考することができたか。	6
	1 2	調査方法の個別指導	個別面談により進捗状況の確認 調査方法の助言 グループ内で中間発表	・調査方法について再検討することができたか。 ・発表を通して、自己の探究について再検討することができたか。	6
3	2	改善点の個別指導	探究方法の改善点や新しい課題などの設定	・相互評価を経て、新しい視点を持ち、探究活動を深めることができたか。	6
	3	報告書の提出	報告書の提出方法確認 報告書の個別指導	・様式にのっとり、報告書が提出できたか。	6
配当時間 数の合計					35

令和8年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

(3学年)

1 単位時間の時間 (50) 分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	4	個人探究 (人と協働して課題を 解決する)	①整理・分析 (4時間) 情報を整理・分析する際の視点を決める 自分の考察を明示する 人の助言を求める 人に助言を与える	○集めた情報を整理 して、ある視点から 比べることができた か ○誰かの助言を得る ことができたか。また、 誰かに助言を与え ることができたか	1 2
	5				
	6	個人探究 (課題解決の過程をま とめ、発表する)	②まとめ・発表 (8時間) 仮説と調査と考察と結論を盛り込む 見やすい資料の作り方 発表する際の声や姿勢、振る舞いに関する 技術	○資料に仮説・調査・ 考察・結論が盛り込 まれているか ○資料の見やすさ ○発表する際の声や 姿勢・振る舞い	
	7				
2	9	職業の選択と社会貢献 及び自己実現	③整理・分析 (15時間) 3年間の学習の成果を振り返る 自分の現状を把握する 今後の学習目標を立てる 上級学校模擬授業体験	○自分の現状を把握 できたか ○今後の学習目標 を立てることができ たか ○進学後のことま で、深く考えること ができたか	1 5
	10				
	11 12				
3	1	職業の選択と社会貢献 及び自己実現	④まとめ・表現 (8時間) 今、考えるべきこと 今、行動すべきこと お互いの長所や努力していることを指 摘し合うワークショップ 卒業生講演会を見て、自分はどうなりた いと思ったか 卒業を目前に控えて今後すべきこと	○自分の行動すべ きことを把握でき たか ○具体的な行動に 移すことができたか ○自己の長所など を説明できるだけの 材料を把握できたか ○学ぶべき点など 自分の今後に活かせ る点を把握できたか ○今後の具体的な 行動に対して見通し をもてたか	8
	2				
	3				
配当時間 数の合計					3 5